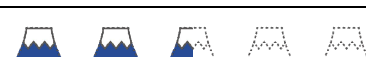


1. 建物概要

建物名称	ビューテック新居工場B棟新築工事	BEE	0.6	BEEランク	B-	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度		評価	
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.7	/5			がんばろう 	
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.2	/5			がんばろう 	
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	4.0	/5			よい 	
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.5	/5			がんばろう 	
※対応するCASBEEのスコア（平均）を5点満点で表示 します。（スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点）			評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 	がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	2.7
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④躯体材料は外部仕上げ、主要設備の耐用年数は期間が長いもの採用した	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	外皮性能 昼光利用設備 昼光制御 躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤ 外部仕上げは、周辺の町並みに調和させている。	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑨ 照明設備はLED照明を採用している。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型器具と省水型の便器を採用している。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.2
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	4.0
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑階高7.3m以上 空間のゆとりを確保した。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.5
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_連絡版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ビューテック(株)新居工場B棟新築工事	階数	地上1F
建設地	静岡県湖西市新居町新居字向島33	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	27 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2026年7月15日
敷地面積	4,744 m ²	作成者	矢田秀孝
建築面積	2,692 m ²	確認日	
延床面積	2,957 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境効率チャート	標準計算 ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+ ライフサイクルCO₂排出量チャート	大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 2.5		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.3	LR のスコア = 2.7 LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.5 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9		

3 設計上の配慮事項	総合		その他
	これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。		特に無し
Q1 室内環境	工場につき対象外	Q2 サービス性能	工場につき対象外
Q3 室外環境(敷地内)			
LR1 エネルギー	工場につき対象外	LR2 資源・マテリアル	節水型・省水型の衛生機器を多く採用して水資源の保全を図
LR3 敷地外環境			

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される